

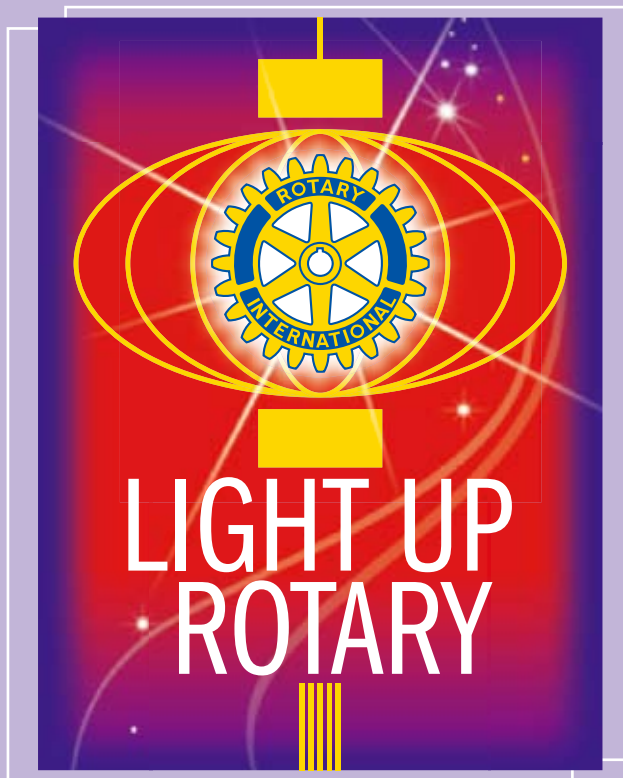
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014—2015 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナー月信 **11** 月号

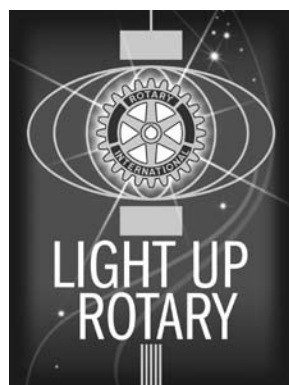
Vol.

5



国際ロータリー 第2660地区
2014—2015年度ガバナー

泉 博朗



2014-2015 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 **11**月号

CONTENTS

Vol.5

ガバナーメッセージ（ロータリー財団月間・世界インターアクト週間）	1
ロータリー財団月間によせて	3
世界インターアクト週間にあたって	5
地区米山奨学セミナー 報告	6
青少年交換委員会 来日学生一泊研修会 報告	8
地区大会のご案内	9
コーディネーターニュース	10
災害支援プロジェクト 報告	11
米山奨学委員会／ロータリー財団	13
2014年9月度 会員数・出席報告	14
文庫通信	15
敬弔／お知らせ	16

ロータリー財団月間 世界インターアクト週間

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



ロータリー財団月間

ロータリー財団(R財団)は1917年RI会長アーチ・クランフが「基金を作り、世界的規模で善意・教育・その他社会奉仕分野で何か良いことをしよう」とアトランタ国際大会で提案したことから始まりました。この基金が発展し、1928年R財団と名付けられ、RIから独立した別機関となりました。

昨年の2013年度よりFVP「未来の夢計画」として、R財団が、全く新しい形で始まりました。当地区では、初年度である2013～2014年度は地区補助金44件、グローバル補助金13件(内奨学金3件)の実績があり、本年度は38件の地区補助金および、10件のグローバル補助金(内奨学金1件)の申請予定があります。数の上では、この2年間ですべてのクラブ数に匹敵するクラブが活用したことになり、クラブの社会奉仕活動、国際奉仕活動に多大な支援をした事になっております。このR財団補助金は、皆様の寄付から成り立っていますが、その年次寄付の部分が、3年後に私たちの手元に補助金として返ってくるわけです。当地区では、溝畑R財団委員長率いる、財団委員会の皆様のおかげで、大変うまく、活発に活用されていると感じております。

R財団のもうひとつの大きな事業は「ポリオ・プラス」であります、1979年にフィリピンで600万人の児童にポリオ予防接種をすると

いう5か年のプロジェクトを開始しました。そして1980年初めに世界中の児童にポリオの予防接種をするというプログラムを計画し、1985年にポリオ・プラス・プログラムを設けました。日本では、日本の東京麹町ロータリークラブ山田つね氏が大きく貢献したことはよく知られています。

6つの重点項目

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生設備
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

また、紛争解決と平和に関する国際問題について研究するために「ロータリー平和フェロシップ」があります。ロータリー平和フェローは2年間ロータリー平和センターで学び、紛争解決等のリーダーとなることを期待されています。

世界インターアクト週間

インターアクトは1959-1960年度RI会長ハロルドトーマスが、青少年が世界的に連携して活動できる組織の必要性を訴え、2年後の1962年RI理事会により「インターアクトプログラム」が宣言されました。世界最初のIACはアメリカフロリダ州メルボルンRCが提唱した

メルボルン高校IACです。インターアクトは12歳から18歳の青少年が学校を単位とし、RCが提唱するクラブであり、その年齢は、アメリカのハイスクールの年齢構成に合致しています。日本での最初のIACは1963年認証の宮城県仙台育英学園IACで、1967-1968年度には「インターアクト国際ロータリー賞」を受賞しました。RIは毎年11月5日を含む1週間を「世界インターアクト週間」としています。インターアクトとは「International Action」を意味し、青少年が奉仕と国際理解に貢献することを目的としています。

2660地区では昨年度新たに大阪国際大和田中学高等学校が認証され、四天王寺学園中学高等学校、浪速中学校高等学校、金光八尾中学校高等学校、清風中学高等学校、相愛中学高等学校、大阪桐蔭中学高等学校の7校が活動しています。各校のIACは種々の奉仕活動を、年間を通じて行っていますが、当地区の事業として、年に一回の海外研修、

年次大会を開き、各学校の枠を超えて互いに交流し、共通の奉仕活動を行っています。

海外研修はインターアクトの発祥の目的が「International Action」であることから最も重要な行事であり、一度に全員が参加することは出来ませんが、年度に分けて全員が一度は参加できることが望ましく思います。インターアクトクラブの特色として「学校単位」の活動であり、学校ではクラブ活動に類似したクラブとして認識されています。よって、各学校にはIAC顧問が任命され、提唱RCはIAC顧問を通じて活動のすべてを行っています。1999年版学習指導要綱から「クラブ活動」がなくなりましたが、部活動の教育的意義を認め、学校内で完結するのではなく学校外の諸機関と連携・協力活動を行うことも示されています。そのような状況において、IACは長年の歴史と実績があり、今後、ロータリーが担う活動のひとつであると感じており、多くの提唱を期待しています。

ロータリー財団月間によせて

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑 正信

(東大阪東RC)



今こそ財団を学ぶ時

今月はロータリー財団月間です。ロータリー財団月間である11月に、財団に焦点を当てた卓話やプログラムを是非行なって頂きたいと思います。

本年度の財団目標

ジョン・ケニー ロータリー財団管理委員長は2014-15年度財団目標を5つ挙げています。

- ① ポリオ撲滅
- ② 継続的な寄付
- ③ 新補助金プログラムの発展
- ④ ロータリー平和センター
- ⑤ ロータリー財団の未来の健全性

ポリオ撲滅に関して

1988年から始まった世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)は、過去に類を見ない大規模な国際的協力に基づく公衆衛生プロジェクトで、2011年に650件だったポリオの発症が2013年には416件に減少しています。

ポリオ撲滅活動を支援するパートナーシップでゲイツ財団は2018年までの5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、2倍の額を上乗せします(年間3,500万ドルまで)。

この「End Polio Now—Make History Today」と呼ばれる協同活動は、世界保健機関(WHO)、ユニセフ、アメリカ疾病対策センター、ゲイツ財団、RIが2018年までにポリオウイルスを一掃するための、2013~18年ポリオ撲滅ならびに終盤戦に向けての戦略計画のために55億ドルをあつめるための一環として行われるものです。

今年の世界のポリオ発症件数は、2014年10月8日現在、222件です。(昨年の同時期は282件、1年間の総発症件数は416件でした。)

内訳はナイジェリア6件(49)、パキスタン187件(39)、アフガニスタン10件(6)、ソマリア5件(170)、エクアトリアルギニア5件(0)、イラク2件(0)、カメル

ーン5件(0)、シリア1件(0)、エチオピア1件(4)、ケニア0件(14)です。[流行国 203(94)、非流行国 19(188)]、()内は昨年同時期の発症数。

25年間にわたる努力が実り、ロータリーと協同団体は、ポリオの撲滅にあと一歩というところまでたどり着きました。しかし、完全な撲滅を果たすには、今、すべての力を振り絞らなければなりません。ポリオ撲滅のために一層のご協力をお願い致します。

慈善事業を支援する寄付にご協力を

・Every Rotarian Every Year (EREY)

—日本の目標は\$150 / 会員です。

・ポール・ハリス・ソサイエティ(PHF)

—地区コーディネーターが任命されています。

年次基金、ポリオプラス、財団が承認した補助金プロジェクトに毎年1,000ドル以上を支援下さる方を認証するためのプログラムです。

・寄付ゼロクラブの解消

・ロータリーカードの普及—特に法人カードの普及

・寄付増進のために恒久基金 / 大口寄付アドバイザーが任命されています。

持続可能な教育的・人道的プロジェクトに参加し、新しい補助金制度を発展させましょう

地区補助金は、財団の使命を支える教育的および人道的活動(職業研修チーム、奨学金、人道的奉仕プロジェクト、文化交流を含む)を対象とし、毎年一括でDDFの50%を各クラブに配分されます。比較的規模の小さい活動やプロジェクト向きで、地元と海外いずれの活動にも使用され、幅広い指針の下、地区に裁量権が与えられています。

グローバル補助金は、グローバル補助金として使用できるDDFの最大額は、3年前の年次基金の25%+恒久基金の運用益の25%+前年度からの繰越金で、対象は6つの重点分野に属し、持続的で測定可能なプロジェクトに対し、総額、最低3万ドル以上の大規模プロジェクト向き、クラブ拠出金+地区の

補助金+財団の補助金(15,000ドル以上)のもので
す。

2013-14年度地区補助金は、44件のクラブから
の申請(内訳は、奨学金1件、国際奉仕13件、災害
支援5件、社会奉仕19件)と、1件の地区からの申
請(フィリピンの台風被害に対する支援)が承認を受
けました。

2013-14年度グローバル補助金は、奨学金3件、
人道的国際奉仕が代表申請で7件、共同申請で3件
の承認を受けました。

2014-15年度地区補助金は、38件のクラブから
の申請(内訳は、奨学金1件、国際奉仕13件、災害
支援5件、社会奉仕19件)が承認を受けました。
2014-15年度グローバル補助金はこれからという状
況です。

ロータリー平和センター・プログラム

ポールハリスは、二度の世界大戦の中を生き、世
界平和の難しさを痛感し、強く平和を希求したロータ
リアンでした。そのポール没後50周年を記念し、彼

のメモリアルプログラムとして2002年度に創設され
たのが「ロータリー平和フェローシップ」です。

基金の目標金額は2015年6月30日までに1億2,5
00万ドルであり、これで毎年最高100名の平和フェ
ローの費用を賄うことができるようになります。応募
者の発掘が課題です。

ロータリー財団の未来の健全性のために 長期的な財務安定性の確保

2015年7月1日から新しい資金モデルが開始しま
す。運営費を投資収益のみでは賄えないので運営
準備金制度を設けるといふものです。

投資収益、年次基金への寄付の5%、グローバル
補助金への現金拠出の5%を運営準備金とします。

100の年次基金への寄付=3年後にDDF(地区
財団活動資金)50、WF(国際財団活動資金)45、
運営準備金5となります。

運営準備金が目標(6800万ドル)に達したら余剰
金は恒久基金へ繰り入れとなります。

世界インターアクト週間 にあたって

インターアクト委員会 委員長

鮫島 武信

(大阪南RC)



インターアクトは、RIの常設プログラムです。当地区には現在インターアクト提唱RCは7クラブしかありませんので、当地区の多くのロータリアンにとっては、関心の薄いプログラムとなっているのかもしれませんが。ご承知のとおり、すべてのクラブと地区は青少年の基本的ニーズである健康・人間の価値・教育・自己開発を支援するためのプロジェクトに着手するよう奨励されおり、その一つの柱がインターアクトクラブ(IAC)の提唱です。

当地区のIACは、大阪桐蔭(大東RC)、金光八尾(八尾RC)、四天王寺(大阪天王寺RC)、清風(大阪南RC)、相愛学園(大阪RC)、浪速(大阪帝塚山RC)に加えて、昨年度から大阪国際大和田(守口イブニングRC)が加わり、全7校です。各IACは、各校の顧問の先生方の指導の下、それぞれが地域の奉仕活動をしています。具体的には、地域の清掃活動、献血活動、募金活動などを挙げることができ、その活動に提唱RCのロータリアンが参加したり、逆に、インターアクターが提唱RCの活動や地区の活動に

参加することで、IACとRCとの交流、さらにローターアクトクラブとの交流を行っています。

地区活動としては、海外研修(8月5日~8日)、年次大会(11月9日 於：金光八尾中高校)、新入生歓迎会(来年6月実施予定)の3つの行事を柱として、機関紙SCRUMを発行しています。

今年の海外研修(8月5日~8日)は台湾台北の3520地区を訪問し、現地において奉仕活動を行いました。研修の後、インターアクターが台湾のIAC委員長に宛てた礼状から、3通の抜粋を文末に示します。

C君の言葉「言葉が同じなのにわかり合えないことが多い…少しでも理解しよう」「人に対しての考え方やものに対する考え方、人との接し方も変えうる体験」は、我々ロータリアンをも成長させてくれる言葉ではないでしょうか。インターアクト活動は、参加する全員に将来への勇気を与えてくれる活動です。

提唱IACの有無に関わらず、全てのロータリアンのご理解とご参加をお願いすると共に、提唱クラブが一つでも増えることを希求いたします。

A君 「寄付活動の時、不器用な僕たちに丁寧に台湾の言葉を教えてくれたこと。体調を崩して途中から参加した僕にも、積極的に話しかけてくれたこと。そんな皆さんの優しさや、温かさに感謝しても感謝し尽くせません。

When we were doing fund-raising activities, you taught us Taiwanese. I had joined in the middle, however you made an active effort to talk to me. I'm appreciate such your kindness and your warmth.]

Bさん 「英語が出来ない私にわかりやすく話してくれてありがとうございました。次、会う時は英語や中国語で会話出来るようにします。

Thank you for talking plainly for me who cannot speak English. Next, when meeting, it enables it to talk in English or Chinese.]

C君 「日本でも言葉が同じなのにわかり合えないことが多いのに、台湾の方々は少しでも理解しようとしてくれました。人に対しての考え方やものに対する考え方、人との接し方も変えうる体験する機会を与えてくださった台湾のロータリーとインターアクトの皆様には感謝しています。

Though words were the same, understood it in Japan, and few, the Taiwanese people were going to understand it though there was not often it. I thank a Taiwanese rotary and the inter-acts whom I gave an opportunity to experience it when I can change way of thinking for the person and way of thinking for the thing, how to contact people.]

2014～2015年度 地区米山奨学セミナー 報告

米山奨学委員会 委員 **鹿浦英毅**
(大阪北RC)

日時：2014年9月6日(土) 13:00～15:10

場所：OMMビル 1-4号室

参加者：ガバナー 泉博朗、パストガバナー 近藤雅臣、岩田宙造、大谷透、高島凱夫、福家宏、
ガバナーエレクト 立野純三、ロータリー米山記念奨学会事務局長 岩邊俊久、
米山カウンセラー代表 家高健志(枚方RC)、1999～2003年 第5代 関西米山学友会会長 杉本麗華、
米山奨学委員会 委員長 近藤菜穂子(大阪ネクスト)、
副委員長 福田治夫(守口イブニングRC)、田中隆弥(池田くれはRC)、
古城紀雄(千里RC)、
委員 島井宏子(大阪北梅田RC)、堀田修平(枚方RC)、
岡部倫正(大阪城南RC)、吉馴茂子(大阪アーバンRC)、
西谷雅之(大阪城南RC)、鹿浦英毅(大阪北RC)、
石井博章(吹田RC)、他、
地区関係者・クラブ会長、会長エレクト 他、合計196名

セミナー開催に際し、泉ガバナーのご挨拶と岩田米山奨学部門顧問のご挨拶を頂きました。

続いて近藤地区米山奨学委員長から「当地区の昨年度の寄付金額が前年比約1000万円増額しました。本年度の委員会の活動方針として、『将来、母国と日本の懸け橋となって国際社会で活躍する優秀学生を奨学する事』を目的としています。また、事業の財源は、全てロータリアンの寄付金で運営されています。将来は、その財源を更に大きくして、全クラブへ奨学生を紹介できるようにと委員会の目標もっております。しかしまずは、受け入れをご希望されているクラブへご紹介できるように一人当たり3万円の寄付金目標でお願いしたいと思います。」とのお話があり、『委員会の重点項目として ①推薦大学制度の充実、②奨学生の質的向上、③学友会の活性化』、そして『米山奨学生の特徴と現状説明(国別など)』、『米山奨学生の学生像』、『世話クラブ&カウンセラーへのお願い』、『世話クラブカウンセラーからのアンケート』、『奨学生の心得』、『学友会について』などの詳細な説明を受け、最後に奨学生の支援・交流を通して国を超えた信頼関係を築き、世界平和を願う『心』を育てるという米山奨学事業に更なるご理解とご協力をお願いします。」と述べられました。

その後、米山奨学事業についてのDVD鑑賞、そして杉本第五代関西米山学友会会長から『米山奨学会で学んだこと』として、このセミナーで奨学生時代の感想と学友会会長としての経験について感動的なスピーチを頂き、家高米山カウンセラー(枚方RC)から『はじめての米山奨学生を担当して』のタイトルで、初めての経験や、吃驚したことや、知ったことを興味深くお話して頂きました。

続いて、古城地区米山奨学副委員長から本日のセミナーの中心であります『米山奨学事業について深く学ぶ』と題して『①日本のロータリー運動と米山奨学事業、②奨学生とロータリアンの一年、③奨学生はどのように選考されているか、④寄付額と地区への奨学生配置数、⑤寄付金(使われ方、前年度、今年度、税制上の優遇配置)、⑥母国でそして日本で活躍する元奨学生：米山学友たち』について、より深くより詳細にご説明頂きました。

質疑応答では、

Q) 近藤地区米山奨学委員長：「当地区の寄付金額は前年度よりかなり増額しました。にも関わらず奨学生を当地区の受入希望45クラブ全部に送れない状況であります。それでは、年度の一人当りの寄付金がいくらあれば満たせるのか?また、奨学生一人に対してどのくらいの金額が年間かかるのでしょうか?」

A) 岩邊米山記念奨学会事務局長：「変動数字もありますが、奨学生の一人あたりに係る金額は、奨学金と地区への補助金を入れて約155万円かかります。」(豆辞典参照)

Q) 参加会員：「会員数が減っているにもかかわらず、45クラブが奨学生を受入することを希望するからといって、全会員一人当りの寄付金を3万円に増やしたりするのですか？ また、当地区だけが3万円の寄付にするよりは、1万5千円の全国平均寄付金額を増やすべきではないでしょうか？」

A) 岩邊米山記念奨学会事務局長：「普通寄付・特別寄付を増やす方を今後も考えて総額を上げ

ていきたい。」西谷前地区米山奨学委委員長：「昨年度の月信にもご説明させていただいておりますが、会員数の減少比率以上に寄付金額の減少が多かった理由もあり、また、大学の数が他地区に比べて非常に多く、各クラブに奨学生を送ることのできる地区として、地区委員会の目標が「全クラブへ奨学生を紹介できるように」ということでした。しかしまず、奨学生を希望するクラブにだけでも送れるようにしたいため、鋭意3万円をお願いした次第です。」

最後に福家パストガバナーのご講評と閉会のご挨拶をもって充実したセミナーを終了致しました。



青少年交換委員会 来日学生一泊研修会 報告

青少年交換委員会 委員 **松岡一郎**
(大阪RC)

開催日：9月20日(土)・21日(日)
場 所：立杭 陶の郷・有馬温泉 古泉閣
出席者：来日交換学生10名、青少年交換委員会
メンバー、ROTEXメンバー、事務局32
名、日本伝統音楽奏者3名

来日学生一泊研修は、海外から来て間もない来日学生を対象に、日本の文化を少しでも知っていただき、また日本での世話役であるロータリアンやROTEXのメンバーを互に知ることと、日本での生活環境に慣れていただく目的で開催されました。

まず1日目お昼の12時集合し、始まりは、井村委員のお世話で、兵庫県篠山市の施設、立杭 陶の郷にて、陶芸体験をしていただきました。事前にグループ分けを行い、青少年交換委員会のロータリアンのプライベートカー 10台に、来日学生、ROTEXメンバーを乗り合わせし、グループ毎に、留学生とROTEXメンバー皆で、陶芸の先生の指導を受け、粘土をこね、ろくろを廻しながら、陶芸作品の制作体験を実施。陶芸体験の後は、鎌倉～江戸時代の「古丹波」の名品の数々と、現代作家55名の最新作の展示を見学し、緑青色をした自然釉の美しさや、赤土部釉、白釉壺など、他に類を見ない独特の魅力ある作品を観賞いたしました。

14時半に、陶芸の郷を後にし、15時に宿泊先である有馬温泉 古泉閣に到着。到着後すぐに、大阪RCの高杉会員のお世話で、約2時間の研修である尺八、琴、三味線の日本の伝統音楽を鑑賞、来日学生に、琴、尺八、実際の楽器に触れ実際に、自分で音を出す体験もしていただきました。17時半ごろに、本日の研修が終わり、各自、ログハウスと部屋に移動、休憩。19時から、素敵な場所で夕食、綺麗なプールサイドにて、参加メンバー皆でバーベキューをいただきました。

夕食後は、ROTEXメンバーが中心になり、参加者全員の名前を正確に覚えるために、考案した伝言ゲームを実施しました。このゲームは、来日学生、ROTEX、ロータリアンの全員参加の表現力とチーム

ワークのよさを問われる伝言ゲームで、お互いを知り合うよい機会になったように思います。ゲームが終わり、各自部屋に戻り、お風呂に入り、11時ごろ就寝。

朝8時、再びプールサイドに集合、iPhoneの小さな音で、皆でラジオ体操を行い、バイキング形式のサラダと卵料理の朝食。朝食後、来日留学生全員10名の名前と顔を参加者全員に、覚えて帰ってもらうために、自己紹介と感想発表、質問を実施しました。朝10時、古泉閣をチェックアウトし、有馬温泉街の散策を実施。30名以上で2列に並び有馬温泉街まで歩き、また、グループ毎の自由散策を実施して、有馬温泉の街、お店などを見学しました。

12時、ランチは有馬食堂にて、カツ、野菜のカレーライスを出席者皆でいただき、再び歩いて古泉閣の駐車場に戻り、各自、来日学生をホストファミリーまで送り届け、2日間の研修を無事終了しました。

青少年交換委員会の予算が少ない中で「来日学生の一泊研修会」を昨年度に引き続き2年担当させていただきました。青少年交換委員会は、海外と日本を相互につなぐ架け橋と世界平和につながる有益な事業を行う、ロータリー活動の重要な役割を担った委員会であると思います。委員長をはじめ、委員の皆様、協力ロータリーメンバー、協力ROTEXメンバーの博愛の精神に支えられながら、この行事も今年も開催でき、また無事終了することができました。

次年度以降、青少年交換委員会の予算が、従来と比べ大幅に減少することです。各種行事の内容の質を維持することや活動そのものを従来通りできるのが心配されることです。今のままでは、活動予算の寄付を集めたりすることも行う必要も出てくるでしょうし、活動予算獲得活動も青少年交換委員会の今後の課題であると思います。

青少年交換委員会とROTEXの活動が次年度以降も有意義に活発になることを祈念しています。



地区大会のご案内

実行委員会 副委員長

竹川修司

(大阪帝塚山RC)

RIテーマ：ロータリーに輝きを

地区方針：ひとりひとりの輝きで、あなたの地域を輝かそう

地区大会テーマ：英知を集めて未来を築こう 今、羽ばたこう未来に向かって

地区大会の目的とするところは、一つには、数々の決議事項他の審議と、二つには、ロータリーの綱領を推進するために地区内ロータリアンの交流の場を設けることです。そのような次第ですので、信任状提出・選挙人選定等々、各クラブにご協力を仰ぎながら、第一の事項については肅々と(速やかに)進めます。

第二の事項については、すでに各会員のご家庭に直接ご案内しましたように、今回の大会では、多彩な方々をお招きしています。

大会1日目の分科会には、真言宗座主松長有慶猊下、解剖学者の養老孟司氏、元国際ロータリー会長田中作次氏にご講演いただきます。

家族の集いでは、女優の市原悦子さんに「私の選んだ女優の道」と題して朗読と講演をお願いしまし

た。夜に催されるRI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会のウエルカムコンサートは、女性サクソ奏者の矢野沙織さんに演奏していただきます。

大会2日目には、あの方にコンサートを催していただくことになりました。いずれの講演でも、演奏でも、コンサートでも、耳にすれば必ずや会員の皆様の琴線に触れることと存じます。

矢野沙織さんのサクソでマリアーージュするピアノは、大阪のジャズピアニスト、竹下清志さんです。

なお、晩餐会では、呑むためのお酒として大阪の銘酒、秋鹿をご用意しました。ゆるゆるとお寛ぎください。

9月初めに紅葉狩りに行きました。例年に比べ今年は1週間、寒気の押し寄せるのが早いようです。大会当日まで、ご自愛ください。

第1日目 2014年12月5日(金)

シェラトン都ホテル大阪

開会式 14:00 開会

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 18:00 開宴

第2日目 2014年12月6日(土)

フェスティバルホール

本会議 13:20 開会

コーディネーターニュース

第2ゾーン ロータリー・コーディネーター **高野 孫左エ門**

(甲府RC)

「My Rotary」を活用しよう

2013年6月、ロータリーの新しいロゴが登場、同時に、これまでロータリアンの情報源として活用されてきたウェブサイトもリニューアルされました。

新しいウェブサイトは『リーダーのネットワークへ(さまざまな国・文化・職業のリーダーとつながろう)、アイデアを広げよう(交流のネットワークに参加し、視野を広げよう)、行動しよう(豊かな町づくりをめざし、持続的な、発展を支援しよう)』をキーワードに、戦略計画に基づいた「地区やクラブの活性化」推進のためのリソースが整備されています。

一般的には、ロータリーは世界で多くの「よいこと」を行っているにもかかわらず、それがほとんど知られていないという事実が国際ロータリーの調査により明らかになりました。

ロータリーを分かりやすく、しかも魅力的にアピールしていこうというのが、この取り組みの目的です。その対応として「ビジュアルアイデンティティ」と「ボイス」が提示されました。

「ロータリー活性化」の新しい「ビジュアルアイデンティティ」では、ロゴが新しくなっただけでなく、色、フォント、写真のスタイル、アイコンなど、ロータリーとしての一貫性を保ちながらも柔軟にデザインするためのガイドラインが定められています。

このガイドラインを参照し、クラブが作る資料やホームページなど、ありとあらゆるコミュニケーションにロータリーのブランドを反映させてみてください。(ガイドラインは国際ロータリーのウェブサイト内「ブランドリソースセンター」(www.rotary.org/ja/brandcenter)からダウンロードできます。

ガイドラインに加え、クラブが作成する資料にロータリーのブランドを取り入れるのには、ロータリーの

新しい「ブランドリソースセンター」が役立ちます。「ブランドリソースセンター」から資料のテンプレートやロゴなどを簡単にダウンロードできます。

既に、国際ロータリーのウェブにある「My Rotary」への登録は済まされていると思います。同サイト内の「運営する」から「ブランドリソースセンター」にアクセスされると、様々な資料やテンプレートを活用する環境を得られます。使える資源は存分に活用し、公共イメージ向上に取り組んでいただくことを願います。

また、日本国内34地区、全ガバナーによるウェブサイトが開設されており、それぞれ特徴のある活動を掲載されておられますので、準備段階でのアイデアを膨らませるツールとして活用いただけるものと思います。ぜひともご覧いただきご参考にしてください。

更に、クラブのウェブサイトやフェイスブックを新しくすることに挑戦してください。これはロゴを入れ替えるだけではありません。肝心なのは、ロータリー内部と外部の人びとを結びつけ、誰にとっても魅力的で、ロータリーとして一貫したイメージを与えることです。

「ロータリー活性化」で私たちがお願いしているのは、ロータリーの良さや魅力をできるだけ多くの方に理解してもらえよう、それぞれのクラブで取り組んでいただくことです。明確なメッセージ、そして、これまでよりも一貫性のある「ビジュアルアイデンティティ」によって、外に向けたロータリーのイメージをさらに強く打ち出すことができると私たちは期待しています。これは、私たちロータリーが必要としていることなのです。

今後のロータリーの発展を願い、皆さまのご協力をどうかお願いいたします。

災害支援プロジェクト 報告

国際ロータリー第2660地区 ガバナー **泉 博朗**

(大阪帝塚山RC)

地区ガバナー指名委員会 委員長 **福家 宏**

(八尾中央RC)

地区災害支援委員会より お願いとご報告

【お願い】

積立募金+その都度募金

皆様ご承知の通り、昨今は地球規模で異常気象が発生し、極端気象のため世界各地で甚大な自然災害が多発しております。地震による災害も少なくは無く、身近なところでは南海トラフ、駿河トラフなどを震源とする巨大地震の発生が予測されております。今後発生する多くの災害に対して今や私たちはどの様に備えるかを真剣に考え、準備をしておく必要に迫られているのが現状であると思えます。

また一方で東日本大震災や今年8月の広島市の土砂災害など、大規模ないし激甚な災害が発生した時には、苦しんでいる同胞を支援するため、ロータリアンとしていち早く緊急支援活動を実施しなければなりません(これはお互い様だと思います)。その際には今回の広島市緊急支援募金のような「その都度募金」がどうしても必要だと考えます。

従いまして当委員会は、今後皆様に対しまして二つの形の募金をお願いしたいと考えております。つまりその一つが「積立募金」で、もう一つが「その都度募金」です。

その都度募金については、皆様には十分にご理解を頂いておりまして、いつも多額の寄付金を拠出下さり、厚く感謝申し上げます。

「積立募金」は長期的な資金作りに対する募金であり、当然ながら「災害支援のみに利用される」ものであります。この「積立募金」は大きな負担とならない様、概ね年間一人当たり1,000円とし、3年、5年、10年と積み立てて行く募金であります。年会費に算入頂ければ幸いです。無論当委員会は毎年、確実に財務報告を致します。さらにこの積立金の用途にずれが生じないように、地区ガバナーと当委員会を構成する直前ガバナー、ガバナー・エレクトが確実にこの「積立募金」を継承して行くことをお約束致します。

どうか皆様、この「積立募金」と「その都度募金」

につきまして、ご理解を頂き、是非ともご賛同を頂戴致したく、何とぞよろしくお願い申し上げます。

なお下記報告事項もご参照下さいませ。

【報告事項】

- ①東日本大震災直後、日本のガバナー会は、被災地緊急支援を全国のロータリアンに呼びかけました。多額の義援金は一部しか緊急支援に利用されなかったため、その部分が地区に返済され、これを基金として当地区では災害支援プロジェクト(委員会)が発足し、多くの復興支援プロジェクトにこの資金が利用されました。発足後3年余りを経た今年度初め、当委員会は今後募金活動は行わず、情報の収集と発信を主業務とした活動に転じ、近い将来は地区社会奉仕委員会、地区国際奉仕委員会に災害復興支援事業を託す予定をし、活動計画書にはそのように記載を行いました。
- ②しかし7月以後毎月開催の当委員会は「この委員会の存続」を決定しました。理由としては、この3年間の実績による当委員会事業が定着したこと、また当委員会にはガバナーが出席され、直前ガバナーと、ガバナーエレクトが在籍している特別な委員会で、大きな指導性を有していること、などがその理由です。
- ③そこで活動方針を、見直さざるを得ませんでした。そのような中、今年8月20日には、広島市安佐南地区を初めとする大規模土砂災害が発生して、甚大な被害をもたらしました。当委員会は、同地域の災害緊急支援に迅速に対応することを決定し、地区内全クラブに義援金拠出をお願い致しましたところ、500万円超の多額が集まり、9月30日までに国際ロータリー第2710地区に対しての送金を完了致しました(明細書別掲)。
- ④以上のような経緯を踏まえて、当委員会は9月25日の委員会において慎重に協議を重ねた結果、当委員会は今後も募金活動を行うことを決定致しました。

広島土砂災害 義捐金一覧 (第2660地区内クラブ別)

1	大東RC	26,000円	28	大阪東淀ちゃやまちRC	30,000円	55	大阪天王寺RC	100,000円
2	大東中央RC	94,000円	29	大阪平野RC	121,000円	56	大阪帝塚山RC	80,706円
3	東大阪RC	48,000円	30	大阪イブニングRC	20,000円	57	大阪東南RC	50,000円
4	東大阪中央RC	20,000円	31	大阪城南RC	51,500円	58	大阪鶴見RC	167,076円
5	東大阪東RC	57,000円	32	大阪城東RC	44,000円	59	大阪梅田RC	35,000円
6	東大阪みどりRC	6,830円	33	大阪柏原RC	31,000円	60	大阪梅田東RC	36,000円
7	東大阪西RC	10,000円	34	大阪北RC	116,000円	61	大阪アーバンRC	28,300円
8	枚方RC	50,000円	35	大阪北梅田RC	100,000円	62	大阪うつぼRC	27,000円
9	茨木RC	50,000円	36	大阪御堂筋本町RC	100,000円	63	大阪淀川RC	34,000円
10	茨木東RC	41,000円	37	大阪南RC	125,000円	64	大阪ユニバーサルシティRC	150,000円
11	茨木西RC	300,000円	38	大阪中之島RC	100,000円	65	千里RC	29,000円
12	池田RC	37,000円	39	大阪難波RC	50,000円	66	千里メイプルRC	44,000円
13	池田くれはRC	30,000円	40	大阪なにわRC	22,000円	67	摂津RC	23,300円
14	門真RC	32,000円	41	大阪南西RC	50,000円	68	四条畷RC	12,000円
15	交野RC	34,500円	42	大阪ネクストRC	10,000円	69	新大阪RC	58,000円
16	香里園RC	35,000円	43	大阪西RC	44,000円	70	吹田RC	52,000円
17	くずはRC	52,000円	44	大阪大手前RC	100,000円	71	吹田江坂RC	65,000円
18	箕面RC	50,000円	45	大阪大淀RC	50,000円	72	吹田西RC	30,250円
19	箕面千里中央RC	30,000円	46	大阪リバーサイドRC	23,000円	73	高槻RC	76,000円
20	守口RC	35,000円	47	大阪咲洲RC	50,000円	74	高槻東RC	50,000円
21	守口イブニングRC	35,000円	48	大阪西北RC	50,000円	75	高槻西RC	25,685円
22	寝屋川RC	50,000円	49	大阪西南RC	355,000円	76	豊中RC	154,551円
23	大阪RC	200,000円	50	大阪船場RC	100,000円	77	豊中南RC	25,000円
24	大阪中央RC	23,000円	51	大阪心斎橋RC	100,000円	78	豊中千里RC	32,000円
25	大阪堂島RC	80,000円	52	大阪城北RC	38,600円	79	八尾RC	48,006円
26	大阪フレンドRC	14,000円	53	大阪そねざきRC	50,000円	80	八尾中央RC	100,000円
27	大阪東RC	150,000円	54	大阪天満橋RC	100,000円	81	八尾東RC	15,600円
							合 計	5,169,904円

Rotary
District 2710



国際ロータリー第2710地区事務局
〒732-0822 広島市南区松原町1-5
ホテルグランヴィア広島 6F
TEL:082/506-0055 FAX:082/263-2323
E-mail: info@d2710.com

Rotary International District 2710 Office
Hotel Granvia Hiroshima 6F.
1-5 Matsubara-cho Minami-ku Hiroshima 732-0822 Japan
TEL +81-82-506-0055 FAX +81-82-263-2323

国際ロータリー第2660地区

2014年10月1日

ガバナー 泉 博朗 様

国際ロータリー第2710地区

ガバナー 金子 克也 様



2014年8月広島豪雨災害義援金 受領について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は広島豪雨災害に対しまして、義援金をご送金いただき誠にありがとうございました。

貴地区の皆様のご厚情に対し、心から感謝し、御礼を申し上げます。

ご送金いただきました義援金は、被災者の皆様への援護の一助として役立てていただくことといたします。

最後になりましたが、貴地区の皆様のみまますのご発展とご健勝を祈念して御礼の言葉と致します。

敬具

義援金額 金 5,000,000 円

2014年9月30日 上記金額をお預かりいたしました。

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2014年 8月末	全国寄付金合計額	298,123,937円	(前年度比980万円増)
	第2660地区寄付金合計額	14,612,500円	(前年度比10.56%増)
全国寄付合計トップ10	1. 第2770地区	22,806,000円	6. 第2580地区 14,886,250円
	2. 第2650地区	19,939,686円	7. 第2660地区 14,612,500円
	3. 第2760地区	18,860,000円	8. 第2610地区 11,822,000円
	4. 第2750地区	17,096,120円	9. 第2690地区 11,134,428円
	5. 第2590地区	15,356,600円	10. 第2790地区 11,118,780円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました(2014年8月)。

氏名	回数	クラブ名
白井 孝彦	1回目	守口RC
蔡 明耀	1回目	大阪RC
中谷 庄八	10回目	大阪西北RC

氏名	回数	クラブ名
森 恕	6回目	大阪西北RC
松尾 治	3回目	東大阪西RC
梅澤喜八郎	6回目	東大阪西RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました(2014年8月)。

クラブ名	回数
東大阪西RC	25回目

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにマルチプル・ポール・ハリス・フェローの称号が贈られました(2014年8月)。

氏名	回数	クラブ名
南賀 勝之	1回目	大阪城南RC
下岡陽一郎	1回目	大阪中之島RC
山村 幸久	3回目	大阪梅田東RC
梅澤喜八郎	3回目	東大阪西RC

氏名	回数	クラブ名
光信 昌明	7回目	大阪城南RC
中川 建司	1回目	新大阪RC
花原 昭弘	3回目	新大阪RC

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました(2014年8月)。

氏名	クラブ名
白井 孝彦	守口RC

2014年9月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数		9月末 会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
		全員	女性	全員	女性						
I M 第 1 組	池田	36	35	1	1	2	-1	4	62.86	56.43	
	池田くれは	28	29	1	1	0	1	4	88.90	84.69	
	箕面	28	29	3	1	0	1	4	78.50	71.90	
	箕面千里中央	23	24	0	1	0	1	4	95.39	95.39	
	豊中	43	43	3	0	0	0	4	91.61	73.04	
	豊中南	27	27	2	0	0	0	3	77.00	75.67	
	豊中千里	35	35	3	1	1	0	4	95.08	80.87	
	小計	220	222	13	5	3	2		84.19	76.86	
	I M 第 2 組	茨木	26	26	3	0	0	0	4	97.95	89.33
		茨木東	41	41	4	0	0	0	4	73.34	58.95
茨木西		27	27	6	0	0	0	4	89.81	84.29	
千里		36	36	0	0	0	0	4	86.11	77.02	
千里メイプル		21	22	2	1	0	1	4	96.34	86.59	
摂津		33	35	1	2	0	2	4	89.68	82.74	
吹田		60	61	10	1	0	1	4	96.01	86.46	
吹田江坂		32	35	2	3	0	3	3	95.70	82.01	
吹田西		47	47	2	0	0	0	3	100.00	87.91	
高槻		45	48	5	3	0	3	4	89.76	82.14	
高槻東	38	38	2	0	0	0	4	95.67	94.96		
高槻西	21	20	0	0	1	-1	4	97.62	83.33		
小計	427	436	37	10	1	9		92.33	82.98		
I M 第 3 組	大東	39	40	0	1	0	1	4	100.00	85.95	
	大東中央	27	27	11	0	0	0	4	76.41	68.79	
	枚方	43	45	0	2	0	2	4	92.86	79.59	
	門真	31	32	6	1	0	1	4	97.58	80.65	
	交野	33	33	1	0	0	0	3	73.79	69.52	
	香里園	16	19	1	3	0	3	4	95.58	81.98	
	くずは	49	52	0	3	0	3	4	81.00	73.29	
	守口	41	41	4	0	0	0	4	77.07	71.97	
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	80.56	71.30	
	寝屋川	43	43	5	0	0	0	4	95.35	76.75	
四條畷	12	12	0	0	0	0	3	96.97	96.97		
小計	361	371	32	10	0	10		87.92	77.89		
I M 第 4 組	東大阪	73	74	0	1	0	1	4	88.39	76.25	
	東大阪中央	27	28	0	1	0	1	3	92.14	88.26	
	東大阪東	60	63	4	3	0	3	4	87.91	74.42	
	東大阪みどり	27	27	0	0	0	0	5	74.81	65.93	
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	4	96.39	77.14	
	大阪柏原	31	31	2	0	0	0	4	88.70	85.48	
	大阪ネクスト	18	18	8	0	0	0	4	66.67	47.22	
	八尾	59	59	0	1	1	0	4	78.96	76.05	
	八尾中央	16	16	0	0	0	0	4	84.10	76.55	
	八尾東	25	25	1	0	0	0	4	78.41	64.45	
小計	367	373	15	7	1	6		83.65	73.18		

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数		9月末 会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
		全員	女性	全員	女性						
I M 第 5 組	大阪中央	46	51	6	5	0	5	4	90.65	76.38	
	大阪堂島	31	31	2	0	0	0	4	84.48	75.00	
	大阪北	188	194	0	6	0	6	4	78.13	61.22	
	大阪北梅田	50	56	5	6	0	6	4	76.34	66.07	
	大阪西	75	76	0	2	1	1	4	83.64	78.22	
	大阪大淀	38	38	0	0	0	0	4	89.15	83.72	
	大阪リバーサイド	35	34	6	0	1	-1	4	89.59	74.39	
	大阪西北	49	50	0	1	0	1	4	90.64	82.89	
	大阪そねざき	42	42	23	1	1	0	4	83.03	76.36	
	大阪梅田	20	24	1	4	0	4	4	95.40	80.66	
大阪梅田東	34	36	0	2	0	2	4	83.75	73.00		
大阪ユニバーサルシティ	35	35	5	0	0	0	4	76.52	65.15		
小計	643	667	48	27	3	24		85.11	74.42		
I M 第 6 組	大阪	261	268	2	9	2	7	4	74.50	58.75	
	大阪東	119	122	0	3	0	3	4	92.80	74.55	
	大阪東淀ちゃやまち	29	29	3	0	0	0	4	79.48	78.16	
	大阪城東	42	44	5	2	0	2	4	84.75	78.20	
	大阪中之島	27	27	1	1	1	0	4	91.66	81.47	
	大阪大手前	34	36	5	2	0	2	4	89.17	76.29	
	大阪城北	43	45	3	2	0	2	4	91.66	77.11	
	大阪天満橋	62	62	0	0	0	0	4	85.87	81.68	
	大阪鶴見	30	31	0	1	0	1	4	90.14	84.91	
	大阪淀川	28	30	4	2	0	2	4	94.16	82.36	
新大阪	33	33	1	0	0	0	4	89.40	81.82		
小計	708	727	24	22	3	19		87.60	77.75		
I M 第 7 組	大阪フレンド	26	26	3	1	1	0	4	87.00	64.00	
	大阪御堂筋本町	57	57	2	1	1	0	4	88.94	76.38	
	大阪南	152	159	0	7	0	7	4	84.40	72.76	
	大阪難波	53	53	0	0	0	0	4	90.24	78.47	
	大阪なにわ	24	25	3	1	0	1	4	93.87	83.70	
	大阪南西	14	14	3	0	0	0	4	89.29	85.03	
	大阪西南	96	98	22	2	0	2	4	94.39	71.68	
	大阪船場	40	40	2	0	0	0	4	93.25	86.00	
	大阪心斎橋	38	39	0	1	0	1	4	96.16	83.61	
	大阪うつば	33	34	3	1	0	1	4	90.79	82.82	
小計	533	545	38	14	2	12		90.83	78.45		
I M 第 8 組	大阪平野	31	32	2	1	0	1	4	98.31	93.28	
	大阪イブニング	12	12	2	0	0	0	4	91.67	70.83	
	大阪城南	50	51	0	1	0	1	4	100.00	89.58	
	大阪咲洲	17	16	1	0	1	-1	4	84.37	68.75	
	大阪天王寺	55	58	0	3	0	3	4	87.22	81.36	
	大阪帝塚山	51	51	4	0	0	0	4	84.93	77.83	
	大阪東南	48	48	0	0	0	0	4	97.92	69.21	
	大阪アーバン	26	27	7	1	0	1	4	87.96	86.11	
	大阪みおつくし	30	31	19	1	0	1	3	64.48	56.98	
	小計	320	326	35	7	1	6		88.54	77.10	

合 計	クラブ名	7月期初	9月末	入会者	退会者	増減	平均出席率	ホームクラブ	
		会員数	会員数	数累計	数累計			平均出席率	
	82	3579	3667	242	102	14	88	87.5	77.3

文庫通信 (325号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

古典文献より (2)

■「ロータリー・クラブに就て」

米山梅吉 1929 12p (ロータリー・クラブ民衆文庫)

■「汎太平洋ロータリー大會に臨みて」

トム・サットン 芝染太郎(解説) 1929 3p (ロータリー・クラブ民衆文庫)

■「ロータリークラブの目的と信條」

村田省蔵 D.70 1934 9p (ロータリーを語る)

■「ロータリークラブに就て」

坂田幹太 1928 12p

■「国際ロータリーの組織に就いて」

米山梅吉 1931 8p

■「常識の重要性」

米山梅吉 1937 6p (東京ロータリークラブニュース)

■「新ラシキ會員ノ為メニ」

大阪RC 1928 43p

■「第七十區ガバナー告辞」

村田省蔵 今治RC 1935 13p (今治ロータリー倶楽部発会式記録)

■「サーヴィス座談會」

京都RC 1937 8p (京都ロータリー倶楽部週報附録)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

久尾 潤一郎 会員 (八尾RC)

2014年9月29日 逝去 (享年68歳)

会員研修委員長、プログラム委員長、
会報委員長

米山功労者

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

田中 成人 会員 (大阪北RC)

2014年10月18日 逝去 (享年77歳)

理事、プログラム委員長、S.A.A.

米山功労者 (マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■お詫びと訂正

月信10月号20ページに間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

事務局移転

東大阪中央ロータリークラブ (誤) 石ヶ辻町2-8 → (正) 石ヶ辻町2-38

■例会場変更

八尾中央ロータリークラブ

〒581-0869 八尾市桜ヶ丘1-88 ベルドミール桜ヶ丘 203号

2ヶ月に1回程度移動例会あり

※なお、第二例会場は廃止致しました。

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 泉 博朗 (大阪帝塚山RC)
- 地区代表幹事 川上 富清 (大阪帝塚山RC)
- 地区副代表幹事 新井 文三 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 澤田 正實 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 渡邊 純一 (大阪帝塚山RC)
- 事務局長 栗正 久美

2014-2015年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	泉 博朗
地区代表幹事	川上 富清
地区副代表幹事	新井 文三
事務局長	栗正 久美
事務局員	井上 望美
	加茂 春日
	池田 華江

●所在地

〒541-0052
大阪府中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日
年末年始
2014年12月29日(月)~
2015年1月2日(金)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp